

# ハエの防除と駆除

新潟市保健所 環境衛生課

夏になると出てきて、あちらこちらで飛び回る目障りなハエ！でもちょっとした整理・整頓・清掃で発生を防ぐ事が出来ます。

## 家の周りでよく見かけるハエの種類

### イエバエ (体長6～8ミリ)

○でんぷん質の食品や乳製品を好み生ゴミなどから発生します。

### ヒメイエバエ (体長6～7ミリ)

○イエバエより小さい種で、家の中を数匹で輪を書くように飛び回り、生ゴミ・漬物桶などに発生します。

### チョウバエ (体長4～5ミリ)

○体全体が毛で覆われひらひら飛び浄化槽などから発生します。

### ショウジョウバエ (体長2～3ミリ)

○目が赤く食品の発酵臭に釣られて屋内に侵入します。腐敗した果実、ゴミステーションなどに発生します。

### ノミバエ (体長1～5ミリ)

○後脚が発達しており素早く動き回ります。腐敗した植物、果実、堆肥、ゴミステーションなどに発生します。



イエバエ類



チョウバエ類



ショウジョウバエ類



ノミバエ類

## 駆除・対策は・・・

- 生ゴミは、フタつき容器に保管しましょう。
- 成虫は、生ゴミ臭に寄って来ますので、網戸を設置しましょう。
- ペットのフンは、素早く片付けましょう。
- 自宅で堆肥を作る場合は、フタつきコンポスト容器を使用しましょう。ウジ対策でIGR剤を散布すると良いでしょう。(裏面参照)
- ゴミステーションは、普段から町内で協力しあい清掃をしましょう。ゴミの散乱や腐敗など維持管理が不十分な場合必要に応じ薬剤散布をするようにして下さい。



## 汲み取りトイレの薬剤散布

新潟市では、汲み取りトイレ用薬剤として、誰でも簡単、安全、少量でできる昆虫成長制御剤(IGR)を薦めております。

IGRとは、昆虫の変態、脱皮をコントロールしているホルモンのバランスを狂わせ、ハエ・蚊などの羽化を阻害し、死に至らせる殺虫剤であり、昆虫以外の生物に対する毒性が極めて小さく安全な環境に優しい薬剤です。

### ○用意するもの (1回分)

- ・ペットボトル (2リットルサイズ) ・水1リットル
- ・IGR剤 (デミリン) 1包 (3g×2錠)

### ○薬剤の作り方



①金錠などで袋のまま薬剤を細かく砕く



②あらかじめ水1ℓ入れておきボトルに薬剤を入れる



③キャップをして軽く振る



④薬剤が溶けたら完成

### ○薬剤散布方法



○上記写真の通り薬剤を糞便に均等に散布してください。

○ペットボトルの薬剤は使いきってください。

○1回の薬剤散布で約1ヶ月効果があります。

子供やペットの誤飲・誤食には十分注意してください。

ねずみ・衛生害虫の発生や駆除の方法でお困りのときは  
下記にご相談ください。

新潟市保健所 環境衛生課 生活環境係

☎025-212-8269 (直通)